学校番号	１００７

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
講座名	音楽Ⅲ						
使用教科書	「Joy of Music」　（教育芸術社）						
副教材等	音楽の基礎トレーニング　大人の音楽ドリル　入門編　（株式会社ヤマハミュージックメディア）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・本校の音楽Ⅲは、歌唱、器楽、鑑賞、創作の４つの分野を年間通して勉強します。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テスト、筆記テストで評価します。
・どの活動も、どの音楽も偏り無く幅広く取り組むことで、感性が磨かれ、音楽文化をより大事にしていくことができます。
・音楽が生涯ずっと皆さんの心の支えとなり、生きていく力となる事を願っています。

２　学習の到達目標

・生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。
・音楽文化を尊重する態度を育てる。
・感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をする為に必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表現している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	授業態度 学習の取り組み状況 （観察・聴取） 学習プリントの作成状況	学習の取り組み状況 （観察・聴取）	実技課題進度状況 学習の取り組み状況 （観察・聴取） 創作曲	学習プリント 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1ターム	歌による表現力を身につけよう ～アンサンブル～	＜歌唱＞ WINDING ROAD いのちの歌	○	○	○		a:楽曲や詩の良さを生かすための、発声や様々な表現を工夫した表現に主体的に取り組んでいる。 b:音楽を形づくっている要素や構造等と関わらせて、総合的に理解し、個性を生かした創造的な表現を目指して工夫している。 c:表現したい事を伝える為の歌唱技術を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	楽しいアンサンブル	＜器楽＞ ピンクパンサーのテーマ オブラディオブラダ	○		○		a:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c: リズム譜を読譜し、表現したい事を伝える為の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		＜創作＞ 体を使った音でストーリーを表現しよう		○			b: リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら表現したい音楽をイメージしてどのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

2ターム	歌による表現力を身につけよう ～歌曲の世界～	＜歌唱＞ 初恋 かやの木山の	○	○	○		a: 曲想や歌詞があらわす情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 曲のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現する為に必要な発声、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	日本音楽を大切にしていくために イメージを音にする。	＜器楽＞三線 島人ぬ宝	○	○			a:三線の音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音色やリズムなど音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		＜鑑賞＞ 「俊寛」能,文楽,歌舞伎	○			○	a:楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d: 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを尊重して聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

3ターム	自由研究	＜歌唱＞ We Are The Champion(伝説のチャンピョン）他	○	○	○		a:曲想と文化的歴史的背景との関わりに関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律・リズム・速度など音楽を形づくっている要素を知覚しそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝える為の歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		＜器楽＞ 創作曲の演奏	○	○			a:楽器の音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音色やリズムなど音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		＜創作＞ 個性的な表現を生かして自由に作ろう	○	○			a:楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

4ターム	グループによる自由発表	＜歌唱＞ 教科書の中の曲 生徒の創作曲 ＜器楽＞ 教科書の中の曲 生徒の創作曲 ＜創作＞ 自分の音楽を作ろう 自由発表	○	○	○	○	a: 取り組みに対し関心をもち、グループで音楽をつくる事に主体的に取り組もうとしている。 b: 自分なりのイメージをもち、アーティキュレーションなどを生かして楽曲にふさわしい表現を工夫している。 c:イメージに沿った旋律リズムの組み合わせ方、記譜の仕方など必要な創作技能を身に付け、創造的に表している。 d:音楽を形づくっている要素を知覚しそれらの働きを感受しながら、その音楽のよさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

※　表中の観点について　a: 音楽への関心・意欲・態度　　b: 音楽表現の創意工夫
c: 音楽表現の技能　　d: 鑑賞の能力

原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。